

令和8年度

第1回 富士特別支援学校富士東分校学校運営協議会（報告）

- 1 日 時 令和8年5月28日（木） 午前10時から正午まで
- 2 場 所 静岡県立富士特別支援学校富士東分校 コミュニティルーム
- 3 参加者

(1) 学校運営協議会委員（敬称略）

上村 一成（元特別支援学校長 株式会社静岡ドリームビレッジ取締役）
鈴木 修（特定非営利活動法人くらしえん・しごとえん 代表理事）
船津 裕子（船津クリニック 薬剤師）
佐野 勝（青葉台地区町内会連合会 会長） 欠席
小林 誠（富士東高等学校 副校長）
山本奈保子（富士東分校 P T A会長）

(2) 教職員

狩野見知穂子（校 長） 勝又 将也（副校長） 望月 理恵（事務長）
杉澤 陵太 （部主事） 長田 翔太（教務課長） 清 浩樹（1年主任）
栗田 雅央 （2年主任） 浦 れい（3年主任）

4 内 容

【学校運営協議会】

- (1) 開会（副校長）
- (2) あいさつ（校長）
- (3) 任命書交付（校長）
- (4) 会長、副会長の選任（副校長）
- (5) 動画視聴、校内参観（部主事）
- (6) 議事（進行：会長）
 - ア 令和8年度 学校経営計画について（校長）
 - グランドデザインについて（副校長）
 - ・ 質疑応答
 - ・ 学校経営計画の承認
 - イ 協議（グループワーク）
 - テーマ「東高校と地域と一体となった幸福度日本一の東分校を目指して」
- (7) 今後の日程確認（副校長） 第2回：10月19日（月）、第3回：令和8年2月26日（金）を予定

【コンプライアンス委員会】

- (1) 不祥事根絶に向けた取組について（副校長） ・ SNS ・ 児童生徒性暴力等の防止及び初動対応について ・ 働きやすさ、働きがい、 ・ 心理的安全性
- (2) 意見聴取
- (3) 閉会あいさつ（校長）

【議事録】

(1) 開会

(2) 校長挨拶

委員の皆様からいただく様々なご意見を学校運営のヒントとして生かし、よりよい学校づくりにつなげていきたい。



(3) 任命書交付

(4) 会長及び副会長の 選任

提案・報告：事務局より、今年度の会長に上村委員、副会長に鈴木委員を推薦。

決定事項・まとめ：出席委員全員の拍手をもって承認。これ以降の議事進行は上村会長が担当。

(5) 議題① 令和8年度 学校経営計画について

- ・学校側：スライド資料および手元資料を基に、本校全体の学校経営計画を説明。
- ・本校、富士宮分校と富士東分校の2つの分校があり、今年度は「富士特別支援学校グループ」全体として「富士に向かって羽ばたく たくましく生きる人を育てる」という教育目標の再構築を実施。
- ・今年度からは特に「ウェルビーイングの視点」を導入。子どもたちだけでなく、教育現場に関わる教職員や地域関係者の全員がウェルビーイングの視点を持つことの重要性を強調。
- ・特別支援教育の発信地・センター校として、近隣の高校や義務教育学校、教育委員会との連携を強化。地域に根ざし、学校への理解や特別支援教育の必要性を広く伝える活動を継続。
- ・単独での動きに終始せず、分校の良さを活かしつつ本校全体の目指す姿を共有することが大きなビジョンであると報告。

議題② 富士東分校グランドデザインについて

- ・学校側：昨年度の教職員ワークショップから得られた意見を基に策定した、富士東分校のグランドデザインおよび成長のロードマップを説明。
- ・各学年の目指す生徒像として、1年生は「他者受容と社会生活の基礎（視野の拡大、他者理解）」、2年生は「目標の具現化（客観的な自己理解、意思決定）」、3年生は「社会人としての自覚と特性の伝達（自分の取扱説明書の完成）」を設定。
- ・成長のロードマップにおいて、1年生は「自分と他者の世界を学ぶ」、2年生は「客観的な視点で自分らしさを認める」、3年生は「社会へ羽ばたく（自分の取扱説明書を完成させる）」という段階的な方針を確認。生徒の「できないこと」への対策ではなく、「できること」を喜び、愛情を持って未来を語れる場作りの重要性を共有。

- ・今年度の分校教育目標を「良さを磨き 共に学び 社会で協働する人を育てる」とし、重点目標の3つの柱を「守り認め合う」「育み高め合う」「つながり合う」へと、ウェルビーイングの視点に沿って改訂。
- ・「地域との協働」をコンセプトに、学校からの一方的な発信ではなく、双方向の「ウィンウィン（Win-Win）」の関係を構築。製品販売や職場実習、地域貢献活動を通じて社会との接点を増やし、地域と共に生徒の成長を支える方針を提示。

【主な意見・質疑応答】

- ・**委員**： 昨年度の経営計画の文言（守る、育む、つながる）から、今年度は「～し合う（認め合う、高め合う、つながり合う）」という言葉に変化している点、またテーマにも「高め合える」とある点について、そこに込められた思いを伺いたい。
- ・**学校側**： 個人だけでなく、他者や地域とつながり合いながら目標を達成していくこと、また教職員や地域が一体となって生徒を支え、共に幸せになっていく（ウェルビーイング）という意図がこの「～し合う」という言葉に込められている。
- ・**委員**： 包括的性教育の視点からも、「違いを知る」「特性を知ること、自分の価値を認め、他者を受容していく」という双方向の価値観が今回の計画に反映されており、非常に素晴らしい内容である。
- ・**学校側**： 特別支援教育の現場からは、どうしても「お願いする」「やっていただく」という一方通行になりがちだが、そうではなく「お互いに認め合い、仲間にさせていただく」という双方向の関係性を目指していきたい。

【決定事項・まとめ】

提案された「令和8年度 学校経営計画」および「富士東分校グランドデザイン」について審議が行われ、出席委員全員の拍手をもって承認。

（6） 動画視聴・校内参観

- ・部主事 動画の前半は、昨年の卒業式前後の様子（在校生からのメッセージビデオや、初代共生共育委員長からのビデオメッセージなど）を紹介。後半は、実際の学校生活における生徒たちの表情（作業学習、地域との関わりの様子など）を共有。生徒たちが失敗を恐れずに挑戦し、地域とつながりながら活動している様子を報告。
- ・校内参観（各学年の教科）

（7） 議事

「東高校と地域が一体となった幸福度日本一（ウェルビーイング）の東分校を目指して」

1 班テーマ

【守り認め合う】安心安全な学校生活を送り、命を守る行動をするために大切なことは？

○今自分たちができること

- ・安全チェックのルーティン化：月1回といった定期的なスパンで、身の回りの安全やルールの遵守をセルフチェックする習慣を定着させる。
- ・いじめ防止と心理的安全性：チェックリストに「いじめ防止」の観点を明示し、互いの尊厳を傷つけない環境を生徒自らが意識的に維持する。

○地域や東高校と一緒にできること

- ・様々な想定での防災訓練の回数を増やす、ニュース等の情報を知ることを通して。自立性を高め「地域に守られる場所」から「共に命を守る場所」へ。

2 班テーマ

【育み高め合う】卒業後充実した生活をするために、感謝の気持ちを伝えるために必要なことは？

○今自分たちができること

- ・働くことの理解：働いて得たお金で食費や家賃を支払うという、自立生活の具体的なイメージを構築する。
- ・自分のことは自分でする意識：日常の掃除や身の回りの管理を通じ、他者に依存しすぎない自律性を養う。
- ・挨拶と清掃の価値：挨拶や掃除を単なるマナーではなく、社会における自分を助けてくれるネットワークを築くための基盤とする。

○地域や東高校と一緒にできること

地域・東高校での販売、合同清掃、挨拶運動、地域イベントの継続的展開を行うこと。

3 班テーマ

【つながりあう】地域、東高校と行事や作業学習等で一緒にできることは何か？

○今自分たちができること

作業学習などに一生懸命に取り組む姿を地域に公開し続けることが大切であり、生徒自身の社会的信用を蓄積するプロセスにもなる。

○地域や東高校と一緒にできること

- ・共生行事の実施：文化祭や球技大会の共同開催、東高校での野菜販売を通じ、学校間の境界を越えた一体感を創り出すこと（地域に打って出る）。
- ・相互理解の深化：学校施設の開放や地域貢献活動を通じて、地域住民が生徒の「強み」を知り、生徒が地域の「ニーズ」を知る双方向の対話を促進すること。

（８） コンプライアンス委員会

- ・取り組み状況の説明（副校長）：令和８年度不祥事根絶取組計画、教職員の生徒指導に関わる共通ルールについての提案。

（９） その他・次回の予定

- ・学校側より、本日承認された方針を基に、地域と一体となった学校運営を推進していくことを確認。
- ・次回の詳細な連絡事項については、追って事務局より連絡。

